# 2020 2

# 大阪自動車整備健康保険組合
# 保健師からのお手紙

平素より健康保険組合の保健事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。
わが国の医療費は、この数年 40 兆円を超えています。そのうち薬に関わる医療費は 7 兆円を超え、医療費全体の 20%近くを占めています。医療費が増えると自己負担が増えるだけでなく、健保組合の財政悪化へもつながります。現在、わが国のジェネリック医薬品（後発医薬品）使用割合は 72.6%（2018 年 9 月薬価調査より）で、国は 2020 年 9 月までに 80%にする目標をたてています。当健保組合のジェネリック医薬品使用割合は 72.1%（2018 年度）となっており、目標まで、もう少しです。ジェネリック医薬品は先発医薬品と比べると安価なため、上手に利用すると医療費削減になります。そこで今回は『ジェネリック医薬品について』お知らせします。

## ジェネリック医薬品とは？

最初に作られた薬（新薬：先発医薬品）の特許期間終了後に同じ有効成分を使って製造･販売された医薬品です。
開発にかける費用を抑えられるため先発医薬品より安価となります。

高血圧、脂質異常症、糖尿病など生活習慣病や、風邪、腰痛、胃痛、アレルギーなどの薬もあり、飲み薬だけでなく、注射剤、貼付剤（湿布など）、点眼剤など様々な種類があります。

品質を保ちつつ、味やにおい、形状を変えて先発医薬品より、飲みやすい、使いやすい工夫をしている物もあります。

## ジェネリック医薬品を使うには？

医師や薬剤師に『ジェネリック医薬品に変更できるかどうか？』を相談しましょう！

直接伝えにくい場合は、保険証や診察券、お薬手帳に貼れるシールを当健保組合では保険証発行時の台紙に貼付していますので、ご利用ください。
別途シールが必要な場合は、お問い合わせください。

ただし処方せんの【変更不可】欄に「✓」「×」の記入や医師の署名がある場合にはジェネリック医薬品への変更はできません。

## ジェネリック医薬品に変更するのが不安な場合は？

分割調剤（お試し調剤）を利用しましょう！

初めてジェネリック医薬品に変更する場合に利用できます。

処方せんの全日数分ではなく 1 週間～10 日分のジェネリック医薬品を処方し、様子を見て、特に問題がなければ残り日数分もジェネリック医薬品で処方してもらえます。場合により従来の薬に戻すこともできます。

複数の薬がある場合は、1 種類ずつ切り替えましょう。

**有効成分は同じでも添加剤などは、製造会社により違う場合があり、体質によってはアレルギー反応などを起こすことがまれにあります。**

**使用して気になる症状が現れたら、**

**すぐに医師や薬剤師に相談しましょう！**

**先発医薬品でも添加剤が原因で起こるアレルギーは、ありえます。**
**アレルギーがある人は、必ず事前に医師や薬剤師に伝えましょう。**

## 知っていますか？ バイオシミラー

遺伝子組み換えや細胞培養の技術を用いて、人工的にタンパク質を作って医薬品にしたものが『バイオ医薬品（先行バイオ医薬品）』です。

『バイオ医薬品』は遺伝子や細胞レベルに働きかけることができ、効果が高く、副作用が少ないという特徴があります。（ほとんど注射薬：糖尿病、慢性貧血、がん、関節リウマチ、その他難病などに有効）

しかし製造には高い技術力と厳密な品質管理が必要で、医療費がとても高額になることが多いです。

『バイオ医薬品』でもジェネリック医薬品のような位置づけの薬剤があり、『バイオシミラー（バイオ後続品）』と呼ばれています。特許期間終了後に、他の会社がバイオ医薬品と同等･同質の品質、安全性、有効性をもつ医薬品として開発されます。『バイオシミラー』は『バイオ医薬品』より安価となることから、医療財政への負担軽減が期待されています。

〈お問合せ先〉〒542-0066　大阪市中央区瓦屋町 2-3-1　岸和田第 3 ビル 3 階　大阪自動車整備健康保険組合
医療費適正化対策室　保健師：上田、阪本　　TEL：036-6762-6371　Fax：06-6763-1800
バックナンバーは健保組合ホームページで http://www.oj-kenpo.com